

I. 総括研究報告

- 国内外で開発されOECDで公定化されるNAMを活用した試験法の行政的な受け入れに対応するための研究----- 1
 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター／平林 容子

II. 分担研究報告

1. 肝臓並びに腸管オルガノイドを用いた*in vitro* toxicokinetics評価系の構築
 ----- 21
 東京農業大学 応用生物科学部／美谷島 克宏
2. 発がん性試験におけるAOP、IATA及びTGの開発、及び実験データ支援 --- 35
 国立医薬品食品衛生研究所 病理部／豊田 武士
3. *In vitro*腎毒性評価のTG開発及び実験データ支援----- 41
 国立医薬品食品衛生研究所 病理部／松下 幸平
4. 化学物質曝露によって誘発される発達神経毒性に関する研究----- 47
 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部／齊藤 洋克
5. 皮膚感作性*in silico*機械学習モデルのTG 開発----- 52
 名古屋市立大学データサイエンス研究科／安部 賀央里
6. バリデーション基準の改定対応および皮膚感作性試験のTG開発 ----- 57
 国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部／足利 太可雄
7. Bhas42細胞形質転換試験法のTG開発----- 62
 神奈川県衛生研究所 理化学部／大森 清美
8. *In vitro* toxicokineticsのDRP開発----- 64
 国立医薬品食品衛生研究所 薬理部／山崎 大樹
9. OECD ESCAプロジェクト対応 ----- 72
 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部／西村 拓也
10. Bhas42細胞形質転換試験法のTG化、及び、NGTxC・IATAガイダンス文書
 作成支援 ----- 76
 星薬科大学 毒性学研究室／小川 久美子
11. OECD ESCA プロジェクト対応 ----- 79
 帝京平成大学 健康医療スポーツ学部／中江 大
12. 免疫毒性のIATAおよび*in vitro* toxicokineticsのDRP開発----- 85
 山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部医薬工学科／小島 肇

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	92
IV. 倫理審査等報告書の写し	95